

平成30年度

第2回 第二期新温泉町立浜坂認定こども園

整備検討委員会会議録

(平成30年7月25日開催)

第二期新温泉町立浜坂認定こども園整備検討委員会会議録

1 日時 平成30年7月25日(水)午後2時57分～5時15分

2 場所 新温泉町役場 2階 会議室

3 出席者

(構成員) 猪坂悦司委員長、中澤典男副委員長、陣在愛理委員、福原公一郎委員、西村美幸委員、福田栄子委員、丸山茂樹委員、池成和幸委員、西村真理子委員、大田鈴子委員、西岡安雄委員、永井茉莉子委員、(欠席)今木逸平委員

(アドバイザー) 遠藤由美子鳥取環境大学副学長

(事務局) 岡田教育長、西村こども教育課長、吉田こども教育課課長補佐兼教育総務係長、浜田こども育成係長、中尾主査

(企画調整) 井上企画課長

(その他) 兵庫県防災企画課 森田明平主任(津波浸水想定についての説明)

4 傍聴者 0人

5 議事

- (1) 日本海沿岸地域津波浸水想定について(兵庫県防災企画課)
- (2) 浜坂・大庭認定こども園の整備についての考え方
- (3) 浜坂認定こども園建替え候補地選定方針について(改正案)
- (4) 建替え候補地について(案)

開会 午後2時57分

○吉田課長補佐 今木委員から欠席の連絡を受けております。予定の皆さんがお集まりですので、只今から「第2回 第二期新温泉町立浜坂認定こども園整備検討委員会」を始めさせていただきます。開会にあたり岡田教育長が挨拶を申し上げます。

○岡田教育長 お昼の会議ということで大変出にくい中をご出席いただきありがとうございます。出来るだけ早くより良いものを造ってまいりたいと考えており、皆様からお知恵をいただきまして進めてまいりたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○吉田課長補佐 続きまして猪坂委員長お願いいたします。

- 委員 岸田川の堤防の調査が行われているが、県としての考えは。
- 森田主任 今回のシミュレーションを踏まえて「被害想定及びアクションプログラム」を今年度中に策定しようと考えている。被害想定はハード、ソフトの両面で対策を講じる必要がある。ハード面では県土整備部や土木事務所などと打ち合わせを重ねており、ハード整備の強化も聞いている。
- 委員 味原川の河口に開閉式の水門が出来れば津波の進入も防ぐことが出来る。
- 猪坂委員長 時間の許す限りいていただけるそうなので何かあればご意見を聞かせていただきたいと思います。ありがとうございます。聞かせていただいた内容では最大4.5m津波が来てもそんなに影響がないように感じましたが、皆さんは如何だったでしょうか。
- 委員 シミュレーション結果の説明を受けて、津波での浸水域がそれほどないということを感じた。
- 猪坂委員長 それでは (2)浜坂・大庭認定こども園の整備についての考え方に移らせていただきます。事務局お願いします。
- 中尾主査 (浜坂・大庭認定こども園の整備についての考え方を説明)
- 猪坂委員長 説明が終わりました。ご質問をお願いします。
- 委員 大庭認定こども園の耐震診断の結果が改築となった場合、2つのこども園を改築するということになるのか。
- 岡田教育長 大庭認定こども園は結果次第でそういうこともあり得ますが、一度に両方ということはできませんので、まずは浜坂認定こども園を早急に建替えたいと考えている。浜坂認定こども園は洪水の部分でも急ぐ必要があると考えている。
- 委員 大庭は大庭、浜坂は浜坂、ということで進められているが、2園を建替えるのは負担が大きい。この会で提案すれば良いと思う。
- 遠藤先生 きっかけは津波問題であったので浜坂が先に進められてきたが、津波の問題が無くなって大庭のことが取り上げられている。子どもの状況も変わるし、保育の状況も変わる。これまで浜坂のほうを進めてきた状況があるので、こちらに十分な余裕を持った建物を造る。大庭を直ぐにというお考えもあるかもしれないが、多様な要求を受け入れられるということが豊かさの指標だと思う。大庭に行かせたいお家があるのであれば大庭を残し、浜坂とバランスを取っていくという考え方もある。大庭の老朽化の問題は意見として取っておいていただければ良いのではと思う。

○猪坂委員長 議論が次の (3) 浜坂認定こども園建替え候補地選定方針について に入っているように思いますので、事務局の方で説明をお願いしますが、森田主任がお帰りの時間になりました。最後にお聞きしたいことはありませんか。

○吉田課長補佐 津波が河川に遡上しないという説明がありました。地形的に岸田川の河口が海岸に対して斜めに入っていることが、津波の進入を防いでいることになっているのではないですか。

○森田主任 おっしゃるとおり地形は影響します。そのことも加味してのシミュレーションですし、岩盤がしっかりしているということも河川に入り難い要因になっています。

○猪坂委員長 ありがとうございます。

(森田主任退席)

○猪坂委員長 それでは(3)の説明をお願いします。

○中尾主査 (浜坂認定こども園建替え候補地選定方針(改正案)について説明)

○猪坂委員長 何か質問がありましたらお願いします。

○委員 新園舎の構想となっていますが、あくまで構想で決定ではないということでしょうか。病児保育が入っているが病院には大庭が近い。どこでもできるというものではないと思う。

○中尾主査 構想は確定ではない。4ページには案として病児・病後児を記載しているが、3ページに記載すると設置する必要が出てくるため記載していない。

○遠藤先生 建物は長く持続することが大切と思っている。使い方が多様に展開できることも重要になる。今後、具体的な話になったときに余裕をもった施設にしていけば良いのではないかと思う。

○西村課長 今年になって香美町が病児・病後児保育を始めたが場所は香住病院。そのような選択肢もあります。

○猪坂委員長 余裕を持った園にさせていただく必要があると思う。例えば、高齢者との交流の場があっても良いのではないかと思う。今の園運営にあった施設にさせていただきたい。大庭の人が浜坂に通いたいと思えるような園造りをお願いしたい。

○委員 子どもの人数はどうなっていますか。

○西村課長 0～4歳が2015年で500人、2020年で434人、2050年が344人の推計となっています。

○猪坂委員長 こういった現状があるわけですが、まずは場所についてご協議いただきました

と思います。現在地でいければという思いも出ました。安全性に関しては今日説明いただいた津波の関係は何とかクリア出来そうな感じだと思うのですがいかがでしょうか。

○委員 事前に資料を見て、現実的な案で皆さんが現在地に流れるのかなと思っていましたが、今の説明を聞いても津波の恐れがなくなったとは思えない。想定外が何度も起こっている。新しい園舎を建てるときには一部3階か4階建てにさせていただいて安全を確保して欲しい。

○猪坂委員長 全体を現状から嵩上げしていただくという考え方もあるように思います。

○遠藤先生 今日の話では4mもないということですが、例えば4mであれば2階建てで大丈夫になります。2階建てで屋上に避難で十分ではないかと思います。

○委員 建物が高くなれば子どもを上げにくくなるので、嵩上げの方が良い。現状は入り口の坂が急で車を入れるときには苦勞するし、車椅子で入るのは無理。改築の際にはスロープのことも考えて余裕のある敷地で整備して欲しい。

○猪坂委員長 先ずは候補地案の説明を事務局より受けたいと思います。

○中尾主査 選定方針案は承認いただいたということでよろしいでしょうか。

○猪坂委員長 皆さんよろしいでしょうか。（「はい」の返事有り）

○中尾主査 （建替え候補地（案）について説明）

○猪坂委員長 説明が終わりました。質疑を受けたいと思います。

○委員 事前に資料を拝見して、一番妥当な場所に落ち着くんじゃないかと感じています。現在地で十分に嵩上げをしていただいて、回りの土地を購入して敷地を広く取っていただけて進めていただきたいと思います。

○委員 園自体は2mの嵩上げをして安心な高さになると思うのですが、通園路自体は低いままなので、そこを改善していただければ良い案だと思う。通園路の安全確保をお願いしたい。

○猪坂委員長 前回の会議でも出ていたと思うが、事務局はどう考えているか。

○吉田課長補佐 警報が出ている状況で通園路が浸かる状況になると考えている。警報が出ると園は休みとなり、保護者に迎えをお願いする。警報が出てから通園路が浸かるような状況まで5～6時間の間があるので、ほとんどの園児は保護者に引き渡せていると考えていますし、僅かな人数の園児が残る可能性がありますが職員の対応で安全な場所へ異動が可能であると考えています。第一期の最終候補地であるすこやか広場

は南側が土砂災害警戒区域になっているので、北側に園舎を建てても崩れれば園庭が当面使えなくなる。津波による浸水が一定クリアになって現状であればより良い場所は現在地プラス周辺の買い増しになると考えております。

- 委員 警報が出てから5～6時間というがそれより早く水が溢れることがあるのではないか。安全面をしっかりと考えて欲しい。
- 吉田課長補佐 役場としても警戒対策本部を設けて降水量や川の水位等は常に監視し、対策を講じることになる。しっかりと連携を取ることが重要になると考えている。ただ、警報が出てから直ぐに洪水になるというようなことはまず無いと考えている。
- 委員 前回の会議ではすこやか広場しかないと思っていたが、広島の実情を見て土砂災害の怖さを感じた。ただ、今の場所に建てるのであれば一部を3、4階建てでお願いしたいが、保護者や職員の考えを聞きたい。前回、0歳児保育のことが出たが、ニーズがどの程度あるのか、0歳児保育は必要なのか正しいのかを教えて欲しい。
- 猪坂委員長 ゆめっこ認定こども園で0歳児保育の利用は何人ですか。
- 西村課長 5～6人だったと思います。
- 吉田課長補佐 浜坂の場合は明星に行くケースが多い。
- 委員 今年には明星が一杯でゆめっこに行った人もいます。あきらめた人もいますので需用はあると思います。
- 委員 0歳児は定員も少ないので入れたくても入れない。
- 遠藤先生 子どもの施設は地方のアピール力になる。こういう機会に多様な対応ができる施設にしてアピールできればと思う。
- 猪坂委員長 行政として取り組んでいる町にしないといけないと思う。
- 委員 実質的に待機児童がいるとは思っていなかった。
- 西村課長 新温泉町は待機児童0である。ただ、年度途中で6ヶ月になって園に入れたいとなっても受入ができない。
- 委員 数年前までは浜坂でも1歳になったら年度途中でも受け入れてくれていた。今は1歳になって次の4月からになっている。でも、1歳になった翌月からの職場復帰が多いので祖母に預けるような話をよく聞く。
- 吉田課長補佐 制度変更によるものと思う。
- 委員 今まで出来ていない理由は。
- 西村課長 施設面で対応できていないのが理由です。

- 委員 母子家庭で働かないといけない家庭もある。育児ストレスが溜まるので働きたいという保護者も結構いる。
- 西村課長 幼稚園では0歳児は預かれない。新温泉町は4園全てが認定こども園になっているので対応は進んでいる。後は施設を整備することで対応が可能になる。
- 猪坂委員長 会議が長くなっていますが、5時までということをお願いします。今、立替え候補地ということで事務局案の提示がありました。西岡委員は良いという意見でしたが、他の委員の皆さんはいかがでしょう。
- 遠藤先生 すこやか広場と思っていた。候補地それぞれに課題があり、どうしたら解決できるのかということだと思う。そうした視点で見ると、以前の津波から土砂災害のほうに移っている状況もあり、すこやか広場はその面では不安がある。現在地では洪水対策があるが、ハード・ソフト両面で対応していくということなので、これしかないのかなと思うんです。これが最高ということではないが。
- 猪坂委員長 この中ではもっともベターかなと思います。
- 委員 私もすこやか広場と思っていたが、岡山や広島のと砂崩れを見ると怖いという気持ちになった。現在地は洪水が心配ではあるが、環境も良いのでこの中では現在地かなと思う。
- 委員 現在地で敷地に余裕を持たせて、2階建てで良いように思う。
- 猪坂委員長 事務局案で今後進めていくということによろしいでしょうか。
- (出席委員は同意)
- 委員 欠席の委員の意見はよろしいのでしょうか。
- 猪坂委員長 決まった内容は欠席の委員にも繋いでいただいてご意見があれば出していただくということで事務局のほうで対応をお願いします。
- 西村課長 ただ今事務局案ということでご承認いただきましたが、事務局案には私有地が含まれております。情報の漏洩には十分ご注意ください。職員は当然ですが、委員の皆さんにも守秘義務が課せられています。法律違反にならないようくれぐれもご注意ください。
- 吉田課長補佐 前回の会議のときに説明しましたが、この会議は出来るだけ公開していきたいと考えています。公表するタイミングとして、候補地がある程度選定でき、私有地が含まれていればその地権者に了解を得て公開するというように考えています。事務局案に絞っていただきましたので、地権者に当たらせていただいて、次回の会議

- で確認させていただいて公開ということで進めさせていただきたいと思います。13ページに資料では買い増しの場所を広く取っています。この中で北側にするか、東側にするかについて、委員の皆さんに現地を見る中でご意見をいただきたいと思いますので、地権者の方には確定ではない旨も伝えて対応して行きたいと考えています。
- 遠藤先生 次回に現地を見るのであれば、どういう視点で見るとかということ整理していただきたい。交通の関係とか、工事の関係とか、安全面とか、今それくらいしか思いつきませんが。
- 委員 地権者以外にも近隣にお住まいの方への了解は必要ではないでしょうか。
- 遠藤先生 日照権を侵すようなことにはなりそうに無い。建物としては原則平屋で、せいぜい2階建て。
- 岡田教育長 買い増しは田んぼで、そこに園舎を建てる。民家に近づくことは無い。
- 委員 現在の園舎を使いながら隣で工事をするとなると騒音やほこりなど環境面でどうなんでしょうか。
- 中尾主査 施工業者との調整でお昼寝の時間は大きな音は出さないなどの調整は可能であると考えている。
- 遠藤先生 例えば病院の工事では、朝は受診者が多いので工事車両の進入を控えるとかいろいろな条件を付けている。入札時に条件を示しておけば対応は出来る。
- 猪坂委員長 以上で本日の審議事項は終了します。進行を事務局にお返しします。
- 吉田課長補佐 その他で何かございますでしょうか。無ければ次回の日程を確認させていただきます。
- (日程は8月22日(水)午後3時～で決定、場所は調整して連絡、内容は現地確認)
- 吉田課長補佐 閉会の挨拶を中澤副委員長にお願いします。
- 中澤副委員長 これまでなかなか決まらなかった場所が決まりました。今後は早く進むのではないかと考えております。私有地が絡んでいますので漏らさないようにお願いします。本日はご苦勞様でした。

閉会 午後5時18分
